

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和2年度

「リロングウェ県ニヤマ小学校整備及び就学前幼児教育用教室整備計画」

署名式

2020年11月6日



(左) 贈与契約の署名を行う岩切敏大使とマリアンヌ・チャウオ、ニヤマ小学校プロジェクト・コーディネーター

(右) 岩切大使、アグネス・ニャロニエ教育大臣、ウィリマ教育副大臣およびニヤマ小学校関係者



スピーチを行う岩切大使（左）とニャロニエ教育大臣（右）

2020年11月6日（金曜日）、岩切敏大使とニヤマ小学校のマリアンヌ・チャウオ、プロジェクトコーディネーターは、「リロングウェ県ニヤマ小学校整備及び就学前幼児教育用教室整備計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。この贈与契約は、ニヤマ小学校が小学校と就学前幼児教育用の5教室とトイレ11室を新たに建設し、既存の6教室の改修および教室用の机を設置するための資金、90,907米ドルを日本政府が同小学校に供与するというものです。本贈与契約署名式には、アグネス・ニャロニエ教育大臣およびウィリマ教育副大臣も列席しました。

式典で岩切大使は、「子どもたちの精神的、知的、社会的および肉体的発達の基礎が築かれるのは幼少期であることは言うまでもありません。本プロジェクトは、就学幼児教育と小学校両方において、児童の教育環境を整備して基礎的な身体および学習能力の発達に寄与することを目的としています。」と述べました。

大使はさらに、日本政府は、人材育成がマラウイの自立経済へと導く原動力であることを認識しており、子供たちへの教育環境の整備および質の高い教育は重要であると述べました。また、ニヤマ小学校の学校運営委員会には、資金を適切に運用し、長きに亘り、同地域の児童が安全に学習できる質の高い校舎の建設を要請しました。